

総務教育常任委員会資料

(令和6年8月21日)

【件名】

- ・令和6年度第1回鳥取県総合教育会議の開催結果について (教育総務課) …… 2
- ・令和5年度教育行政の点検及び評価について (教育総務課) …… 16
- ・令和6年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について (小中学校課) …… 20

教育委員会

令和6年度第1回鳥取県総合教育会議の開催結果について

令和6年8月21日
総合教育推進課
教育総務課

令和6年度第1回の鳥取県総合教育会議を開催しましたので、その概要を報告します。

- 1 日時・場所 令和6年7月17日（水）午前10時30分から正午まで（鳥取県庁 特別会議室）
- 2 出席者 知事、有識者委員、教育委員会（教育長、教育委員）
〈有識者委員〉

氏名	所属	氏名	所属
大羽 沢子	鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター 特任助教	坂本 哲	株式会社アクシス 代表取締役
織田澤博樹	学校法人鶏鳴学園 青翔開智中学校・高等学校 校長	山田 裕貴	個別指導塾コンパスラボ 教室長
門脇 友美	鳥取県PTA協議会中部ブロック代表理事		

3 概要

(1) 意見交換のテーマ

- ア ふるさとキャリア教育の充実について 別紙1
- イ 教科別の学力状況について 別紙2

(2) 主な意見

ア ふるさとキャリア教育について

〈カリキュラム編成等〉

- ①ふるさとキャリア教育の良い取組を、誰が担当しても持続的に行っていけるようカリキュラムの中に編成していく必要がある。
- ②地域をテーマとした学習が大分進んでいる。次は、ふるさとキャリア教育の4つの視点（グローバル、サステナビリティ、クリエイティビティ、ウェルビーイング）のスキルやマインドの醸成をどうカリキュラムの中に編成していくかがポイントとなる。
- ③全国から評価されている図書教育や県立美術館の開館に合わせたアート教育を、鳥取ならではの取組として課題解決型の探究学習として実施できれば、大きな発展になるのではないかと。
- ④就職も進学もせずに卒業する大学生が少しずつ増えているように感じる。いろいろな体験やその時感じたことを文字化して書き留めるキャリアパスポートを高校卒業後も手元に残して、自分の将来を考える材料として活用させてはどうか。

〈地域との交流〉

- ①特別支援学校には児童生徒が少ない学年もある。生徒が学校外でたくさんの人と触れ合う機会を増やす支援をしてほしい。
- ②地域と密着した教育において、先生や親以外の地域の方に褒められるという経験がとても重要。仮に鳥取から都会に出たとしても、鳥取は良いところだったと思い出す経験となる。
- ③コミュニティ・スクールの取組が全県的に進み、身近な地域の良さや課題を考える機会が増えている。こういう活動を通して達成感や自己有用感が得られると思う。

〈大人の意識改革等〉

- ①子どもたちは、鳥取のことが好きで良い所というのは認識しているが、結果的には県外に出ていっている。その要因は、親や先生など周りの大人からの影響が非常に大きく、鳥取への就職を希望しているかということ、必ずしもそうではないと思う。先生も含めた大人が地元就職の課題意識を持ち、発信が増えていくと、子どもたちもその気になっていくのではないかと。
- ②大人が地元の企業を知らない。会社名は知っていても中身は知らないという実態があるため、大人が地元の企業を知る機会を増やすべき。

- ③県内企業の魅力発信を県内だけでやっても、そもそも学生は帰ってこない。県外での合同企業説明会など、鳥取の企業が県外でも学生たちに魅力発信できるような場所を提供するのも施策としてあり得る。

イ 学力向上について

- ①クラス規模が小さくなるからといって、学習効率が必ずしも上がるわけではない。学習規模に見合った指導方法を行わないと効果が発揮されない。
- ②全国学力調査に限らず、定期テストでも以前はボリュームゾーンが真ん中にある山なりの形であったが、今は谷のような形になるなど、二極化が進んでいる。
- ③英語に関しては、中学校における英語を学ぶ意欲が肝要。間違ふことを恐れず、英語を使って話してみたい、自分の気持ちや考え方を伝え、理解し合いたいという思いが抱けるような授業づくりを進めていただきたい。
- ④単なる知識だけでなく考え方や本質の理解が大切だが、様々な生徒がいる環境で、限られた時間に先生一人が指導を行うのは難しい。知識系の宿題の一部を ICT 活用に置き換えることで、指導や知識の定着を効率よく行うことができる。ICT の活用により得られた生徒ごとの結果を基に人が指導する「人×ICT」の掛け算により、最大限効果を発揮できる。
- ⑤今求められている力を育成するためには、計画的な取組を学校全体で組織的に継続することがとても大切。

ウ その他

- ①以前より電子マネーやアプリゲームへの課金が身近になっている。投資や税金など早いうちから金融リテラシーを身に付けることが将来に役立つ。
- ②先生を県外に派遣して、新しい教育を見せて、県内に還元することも考慮すべき。
- ③教員でなくてもできる仕事をもっと見つけて、学校支援員を活用していく必要がある。

(3) 知事総括

ア ふるさとキャリア教育

- ①ふるさとキャリア教育は、社会全体で取り組まなければならないというのが共通認識。コミュニティ・スクールを活用するなどして、いろいろと体験を積むことが重要。
- ②社会全体が変わって、価値観を転換していく必要がある。ふるさと教育はある程度できているかもしれないが、問題はその背景にある社会。とっとり若者Uターン・定住戦略本部を立ち上げ、その改革を進めているところ。大都市部における県内企業説明会の改善や、スマートフォンアプリ「とりふる」の県内企業情報を用いて、保護者からも子どもにこんな県内企業があるよと紹介してもらおうなど、様々な組織を動員して取り組むべき。

イ 学力向上について

- ①学力についていろいろと課題がある中で、本県の小学校は来年度全学年30人学級になるが、それに応じた教育のメソッドが確立していないかもしれない。ICTや学校全体での組織的な対応など、鳥取流で追求していくことが大切。
- ②学力は相対でデータに表れるが、1人1人の子どもたち、1つ1つの学級が大事であり、そのミクロのところを見逃してはいけない。教育委員会でも地域ごと、学校ごと、学級ごとに分析して突き詰め、下支えするところから学力向上を考えた時期もある。追いつけなくなった子どもたちの影響が数字に表れるため、どのように丁寧なフォローをしていくか、うまくできているかという視点も教育委員会で考えていただきたい。

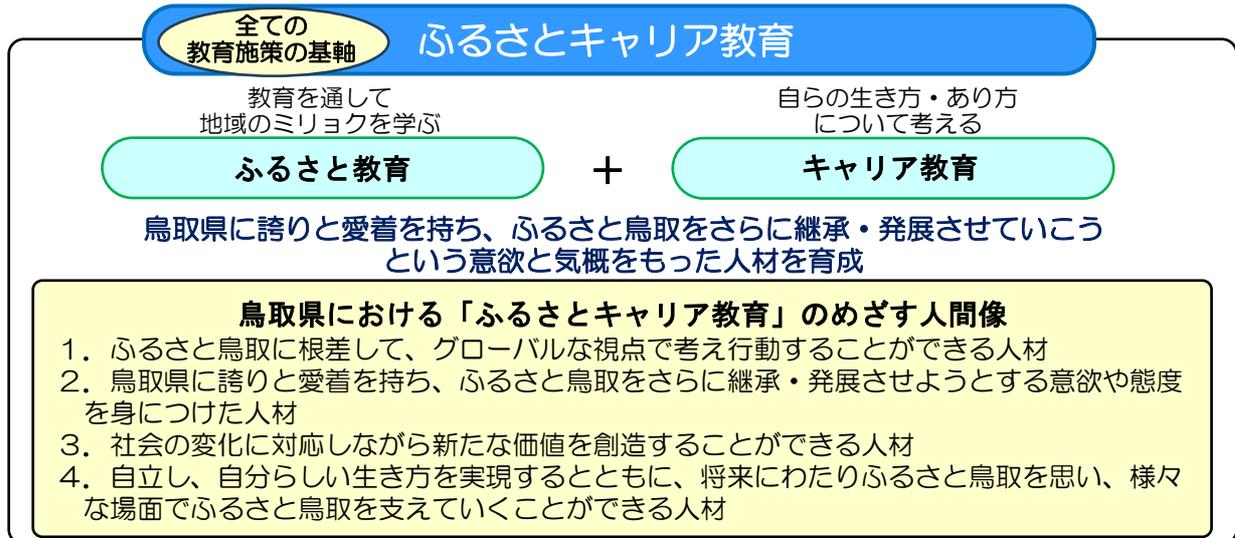
鳥取県の「ふるさとキャリア教育」の取組状況について

令和6年7月17日
鳥取県教育委員会

1 鳥取県における「ふるさとキャリア教育」の推進

- 鳥取県教育振興基本計画（第4次）を令和5年度末に改定。その施策を推進していくために、「ふるさとキャリア教育」を基軸として取り組んでいくことを位置付け。
- 「ふるさとキャリア教育」は、鳥取県教育振興基本計画の基本理念である「自立して心豊かに幸せな未来を創造するふるさとととつりの人づくり」や国の教育振興基本計画のコンセプトでもある「日本社会に根差したウェルビーイング」を育むための取り組み。

(1) ふるさとキャリア教育とは



(2) 幼児期から高校卒業までを通じた系統的な取り組み



(3) キャリア・パスポートの活用

- ・ 令和2年度から、すべての児童生徒が小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動を記録する「キャリア・パスポート」を持ち、高校3年生まで持ち上がっている。
- ・ ふるさとキャリア教育の充実を図るため、「キャリア・パスポート」を活用し、児童生徒が学校で実施されるふるさとに関する学習の記録を残し、自らの学習状況を見通したり振り返り、自身の変容や成長を自己評価するとともに、大人（家族や教師、地域住民等）がコメントを返す等対話的に関わることで、ふるさと鳥取に誇りを持ち、未来を創造する児童生徒の育成につなげる。

2 主な取組状況

(1) 学校における主な取組

【小学校】

ア 各校における探究的な学習（主な事例）

〔八頭町立八東小学校〕

○6年生「八東地域の魅力を発見しよう」

横浜市在住で八頭町出身の写真家を招き、1人1台一眼レフカメラを手に写真を通して見える地域の良さを学んだ。児童は大きなカメラで撮影し、ふるさとの良さを再認識する貴重な経験となり、その体験がきっかけとなり、ふるさとの良さを発信したいという思いが高まり郡家駅や安部地区公民館で自分たちの写真展示会を開くなど、積極的に地域と関わる機会となった。

〔北栄町立北条小学校〕

○3年生「ブドウハウスがやってきた」～北条のじまん ブドウのヒミツを伝えよう～

北条の特産物であるブドウを食べることからはじめ、ブドウの苗木を観察したり、ハウスの名前や看板を作成することなどを通して体験したことや考えたことをわかりやすく伝える方法を考え、関係者に向けて発表した。

〔日野町立黒坂小学校（現 日野学園）〕

○6年生「ふるさと日野の魅力を広めよう」

社会科の学習として日野町議会を傍聴。傍聴後「僕たちもここで提案して、日野町を良くしたい!」、「日野町の魅力をどのように広めたらいいか、議会で提案してみよう」との思いが高まり、総合的な学習の時間や県内修学旅行などを通して学習を行い、「鉄道写真で町おこしを」という意見をまとめ、日野町議会で提案した。

【中学校】

ア 職場体験学習

全公立中学校・義務教育学校後期課程の生徒（2年生）が、3日間程度、地域の企業に出向き就業体験を実施することで、地元企業を知り、働くことの意義を考える機会とする。

イ 各校における探究的な学習（主な事例）

〔鳥取市立青谷中学校〕（「ふるさとキャリア教育」つながる・ひろがるプロジェクト）

- ・ふるさと青谷の地域資源を題材にした学年毎のテーマにより、青谷高校や青谷かみじち史跡公園との連携、青谷の伝統産業である和紙に関わる体験活動を交えながら、探究的な学びを行う。
- ・小学6年生と中学3年生及び地域住民で未来の青谷について考える「みらあおプロジェクト会議」を実施し、そこで話をした思いを全校で共有し、青谷の魅力を発信するような取組について探究していくことで、主体的に地域に関わっていく心情を育む。
- ・地元の方を中心としたゲストティーチャーを迎え、小グループで対話する機会を定期的に設けることで、生き方や働くことの意義、やりがい等、生徒個々のキャリアデザインの形成に役立てる。

※「ふるさとキャリア教育」つながる・ひろがるプロジェクト（令和5年度～6年度）

全ての教育活動を通して、ふるさとを愛し、課題解決に向けて考え行動する児童生徒の育成を目指して、青や中学校を推進校に指定し、コミュニティ・スクールの取組も含めた地域と連携したふるさとキャリア教育の推進や小中高の連携を密にした効果的な実践について研究するとともに、研修会等を開催し、推進校の取組状況と成果、検討結果等の他校への普及を図る。

〔鳥取市立桜ヶ丘中学校〕

3年生がSDGsをテーマとした探究学習「さくらはる課's（さくらはるかす）」を実施し、それぞれが課題を設定し、調べ学習や企業、大学等での講義等を通して解決策を探究した。「身近にある山や動物の自然を守るためにできることは何か」を課題としたグループでは、地元や行政関係者からの聞き取り等をもとに「学校給食へのジビエの活用」について意見をまとめ、文化祭で発表するなど、持続可能な社会の担い手としての多様な価値観を養っている。

〔北栄町立大栄中学校〕

大栄小6年生、大栄中、鳥取中央育英高の児童生徒、地域の方や教員がテーマに沿って討議する「大栄中学校白熱大討論会」を開催し、それぞれの視点から自分の意見を述べるとともに、さまざまな立場の人の意見を聞くことで、自分の将来や地域について考える機会とする。

○R5年度テーマ：「君たちはどう生きるか」 ※鳥取中央育英高はR5年度から参加

〔米子市立後藤ヶ丘中学校〕

3年生の探究学習「持続可能で魅力あふれる地域社会にしよう」において、グループで①地域を支える企業の話を知る、②企業分析（SWOT分析等）、③企業に分析結果の報告及び解決したい課題のヒアリング、④企業に課題と改善案のプレゼン、⑤全校発表を行うことで、「自己肯定感」「達成感」「協働性」「社会貢献意識」「学校や地域でのつながり」の意識を醸成する。

【高等学校】

ア インターンシップの実施

産業界、高等教育機関、大学生（卒業生）、高等学校の関係者により、生徒、企業、学校のニーズに合ったプログラムを検討するとともに、地元企業と連携して、インターンシップを実施する。

※R4年度実施校数：全日制16校/22校、定時制1校/4校、通信制2校/2校

イ とっとり夢プロジェクト

創造力とチャレンジ精神を持った、高校、特別支援学校高等部及び高等専門学校（1～3年次）に在籍する個人又はグループが行う自主的な活動を支援し、生徒自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につなげる。

〔企業との連携による地域課題解決の取組（R5年度補助事業）〕

○米子市内の高校生の協働による米子市中心市街地における活性化のための実証実験（略称：YY（ワイワイ）プロジェクト）

米子西高、米子高、米子南高の生徒がそれぞれの学校で学んできた得意分野を活かした協働により、商店街の活性化に取り組んでいる民間業者と連携し、新商品開発と、空き店舗を無人店舗化して有人店舗とハイブリット型商店街とすることで注目度を高め、地域住民の利便性向上と賑わいの創出を図り、地域を活性化する取組の実証実験を行う。

ウ 各校における探究的な学習（主な事例）

〔岩美高校〕

岩美町内の地区の活性化や観光地化など地域の方にも関わってもらいながら探究を行う「イワッツ・ミッション」を実施。地域で活躍する人材や企業の方の講話を聞いたり直接アドバイスをもらったりして探究の活動が深まるように工夫している。地域の環境や文化等の探究や地域活性化やまちづくりに向けた取組をとおして地域への愛着心や貢献意欲の向上を目指している。

〔鳥取中央育英高校〕

地域創造を軸にテーマを設定し、北栄町を中心に地域活性化に資する取組等の探究を行う「地域探究の時間」を実施。体験活動（フィールドワーク）を重視し、生徒が地域への関心を高め地域の魅力や課題を探究し、地域貢献活動の意識を高めたり自らが地域創造のリーダーとなり得るといふことに気付くことなどをねらいとして取り組んでいる。

〔米子西高校〕

2年生で「地域課題解決コース」を選択した生徒が、地域イベントへの参加や課題の設定、解決策等の探究を行う「みらいチャレンジ活動」を実施。米子市役所と連携し、米子市の課題などの具体的な提示によって動機づけを行い米子市まちづくりビジョンに関する探究の活動に取り組んでいる。

（2）県教育委員会における実施事業

ア ととりのミリオク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー（令和5年度～）

県内の企業を小学校4～6年生の親子で訪問し、仕事の見学や体験を行うとともに、そこで働く方に働きがいやふるさと鳥取で働く思いについて聞く。 ※東中西の圏域ごとに実施

イ ふるさとキャリア教育CMコンテスト ～わたしたちのまちを紹介しよう（令和5年度～）

自分たちの住んでいるふるさとを紹介するCM動画を作成することを通して、地域の良さを再発見し、鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させていこうという意欲と気概をもった人材を育成するとともに、児童生徒の活動を発信し、多くの人にその活動が認められることで子どもたちの自己肯定感が向上することを目指す。

※小学校上学年、中学校、高等学校の3部門、R5年度応募数120作品

ウ ふるさとキャリア教育フェスティバル（令和5年度～）

「親子でおしごと体験ツアー」参加児童による学びの成果発表及び成果物の展示、「ふるさとキャリア教育CMコンテスト」入賞作品の表彰式及び応募全作品を放映するとともに、「親子でおしごと体験ツアー」協力企業6社によるパネルディスカッション及び協力企業の紹介とおしごと体験コーナー等を実施。

エ 中学生トークプログラム

中学生と地域の大人・大学生等が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話すことで、中学生は将来の夢や目標、地域への愛着を育み、地域の大人・大学生等は地域の学校教育に対する興味・関心を高める。 ※R5年度実績：東部5校、中部1校、西部8校

オ 「ふるさと鳥取企業読本」の作成、配布

県内企業292社の情報を掲載した冊子を作成。職場体験充実のための方策や活用実践例等も掲載し、地元の身近な企業の魅力を知るとともに、各学校における職業調べや職業体験活動等で活用する。

※令和6年3月に開設した「とっとり教育ポータルサイト」にも「ととりの企業・仕事」として電子版を掲載。

3 令和6年度の主な実施事業

区 分	内 容
ふるさとキャリア教育CMコンテスト	小中高生を対象に、ふるさと鳥取の魅力を紹介する動画（CM）のコンテストを実施し、入賞作品をインターネット等により世界へ向けて発信する。 ※R6年度募集期間：10/1（火）～11/29（金）
ととりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー	小学生の親子を対象に、県内企業を訪問し、様々な仕事を見学、体験するツアーを実施する。また、ツアーで得た学びを自由研究や動画により発信する。 ※R6年度：7/29（月）～31（水）に東・西・中部で実施予定
ふるさとキャリア教育フェスティバル	親子でおしごと体験ツアーに参加した児童による学びの発信、ふるさとキャリア教育CMコンテストの表彰、講演等を行う。 ※R6年度：2/1（土）、エースパック未来中心で開催予定
高校生による若者定着事業	<地域課題研究発表> 探究学習により、若者定着に関する地域課題に係る実現可能な施策を探究学習で深める。また、学習成果を発表する課題研究発表会を開催する。 <とっとり夢プロジェクト> 高校、特別支援学校高等部及び高等専門学校に在籍する個人又はグループが行う自主的な活動を支援する。
高校生を対象とした県内企業の魅力発信	高校生に対して県内で働く魅力を伝えるため、企業見学及び企業経営者、若手社員等による講座を開催する。
高校生の地域活動等の推進	高校生が、大学生や地域住民・団体・企業等が実施する地域活動に参加し、地域住民等との活動・交流を通じて地域への理解・関係性を深める、特徴ある取組を支援する。
とっとりEYE（愛）デジタルガイドの作成	鳥取で育つ子どもたちの郷土愛を醸成するため、小中高校の段階に応じた県全域の観光等の魅力、産業、住みやすさなどの小中高校生が定住やUターンに“共感”するコンテンツを詰め込んだ、新たな教材（デジタルガイド）を産学官・若者が協働して制作する。
教員を対象とした産業（企業）見学会	中高校生に対し、教員等を通じて県内で働く魅力を伝えるため、教員等対象の企業見学会を実施する。

○とっとり若者Uターン・定住戦略本部とも連携を図り、若者の意見を踏まえ、ふるさとキャリア教育の取組を促進

※とっとり若者Uターン・定住戦略本部：若者のUターン・定住を促進するため、産学官が連携して若者（当事者）の意見を取り入れた施策等のアクションを起こす実行組織（R6.4.1設置）

鳥取県における「ふるさとキャリア教育」のめざす人間像

1. ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材
2. 鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させようとする意欲や態度を身につけた人材
3. 社会の変化に対応しながら新たな価値を創造することができる人材
4. 自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材

学校(コミュニティ・スクール)

連携・協働

保護者・地域・社会

ふるさと教育の視点

◇幼児教育施設(幼稚園・保育所・認定こども園及び特別支援学校幼稚部)

【0歳から就学前】

- 地域の特色を生かした遊び
- 身近な自然や文化・伝統に親しむ遊び

◇小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部

【全体】

- 特別の教科 道徳
- 特別活動〔学級活動(3)キャリア教育〕
- 土曜授業等

【1、2年生】

○生活科

【3、4年生】

○社会科

〔実践例〕・学校のまわり ・水はどこから

○総合的な学習の時間

【5、6年生】

○社会科

〔実践例〕・自然災害を防ぐ ・情報産業とわたしたちの暮らし ・わたしたちの暮らしと政治

○総合的な学習の時間

◇中学校・義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部

○社会科

〔実践例〕・歴史の調べ方 まとめ・発表の仕方 ・身近な地域の調査 ・これからの食糧生産とわたしたち

○特別の教科 道徳

○総合的な学習の時間

○特別活動〔学級活動(3)キャリア教育〕

○土曜授業等

○職場体験

◇高等学校

◆全県立高校でふるさとキャリア教育全体計画に基づいた事業を実施 →ふるさとキャリア教育充実事業を実施し、生徒の社会的自立に必要な能力等を育成

〔内容〕・社会人講師による講演 ・地元事業所訪問 ・地域貢献活動 ・インターンシップ等の実施

<普通学科>

○総合的な探究の時間、特別活動等

〔実践例〕・探究型プロジェクト学習

<専門学科>

○課題研究、関連する教科・科目等

〔実践例〕・テクノボランティア(工業科目の技術技能を生かした地域貢献活動) ・地域食材の活用と商品

<総合学科>

○産業社会と人間

○総合的な探究の時間、特別活動等

〔実践例〕・青谷学(青谷の探究学習) ・日野探究(地域と連携した協働的かつ探究的な活動)

◇特別支援学校高等部

◆全県立特別支援学校において、個別の教育支援計画を作成し、障がいの状況等に応じたキャリア教育を実施

〔実践例〕・就労促進セミナー、福祉セミナーの実施(各圏域) ・鳥取県特別支援学校技能検定の実施

夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来ふるさと鳥取県に貢献する気概を持つ生徒に成長

→卒業(進学)の際にふるさと鳥取応援アプリ「とりふる」へ登録(学生登録)

キャリア教育の視点

全県で統一したビジョンにより推進

地域とともにある学校づくり

○学校・保護者・地域住民等が、教育の当事者となることで、責任感を持ち、積極的に子どもへの教育に携わる。
・学校運営や教育活動へ参画することで、子どもたちの学びや体験を充実させるとともに、大人の自己有用感や生きがいに繋げる。
・顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営を推進する。

・地域住民、学生、保護者、PTA、NPO法人、民間企業、各種団体の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える。

社会に開かれた教育課程

学校運営協議会

一体的推進

地域学校協働本部

地域学校協働活動

・地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える。

学校を核とした地域づくり

○地域の自然遊びへの支援・協力

○地域の文化・伝統に親しむ機会の提供

○郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育(地域での職場見学・体験等)への協力

○地域行事への児童の参加促進(伝統文化・芸能の継承(祭り等)、防災訓練等)

○学校支援(花壇整備、登下校見守り、あいさつ運動、学習支援、読み聞かせ等)

○児童のまちづくりへの参画機会の提供と協力(花壇整備、防災マップ作成等)

○リーダーとなる子どもの育成支援(公民館主催のリーダー研修等)

○郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育(地域での職場体験等)への協力

○学校支援(あいさつ運動、読み聞かせ等)

○生徒のまちづくりへの参画機会の提供と協力(地域課題解決学習、地域の特産品づくり、中学生議会への参加等)

○リーダーとなる子どもの育成支援(県子ども会育成連絡協議会主催のジュニアリーダー研修)

○生徒のまちづくりへの参画機会の提供(地域探究、高校生サークル等による地域づくり、高校生議会への参加)

○地域貢献活動の受入れ(清掃活動、地域イベント・高齢者施設でのボランティア活動等)

○キャリア教育(インターンシップによる就労体験、県内企業による企業合同説明会等)への支援

【県教育委員会のその他の取組】

◇社会教育関係者等の人材育成
学校教育と社会教育の連携・協働等を推進するための人材の育成

◇青少年社会教育施設等での自然体験活動
星空観察、キャンプ、登山、スキー、自然観察等

◇県全体での「とっとり県民の日」一斉取組
地産地消給食、鳥取県クイズ、歴史小冊子配布

◇ふるさとキャリア教育 CMコンテストの開催

◇知の拠点としての図書館機能の充実

◇魅力ある博物館づくりの推進

◇鳥取県立美術館の整備

小・中・義務教育学校・各市町村で独自の取組を実施
特別支援学校小学部・中学部・各学校で様々な取組を実施

高等学校・特別支援学校高等部・各学校で様々な取組を実施

県キャリア教育推進協力企業による協力・支援

県
家
庭
教
育
推
進
協
力
企
業
に
よ
る
協
力
支
援

※特別支援学校(幼稚部・小学部・中学部)においては、幼児教育施設、小学校及び中学校に準じた取組を各学校で行うとともに、児童生徒の居住地域及び学校周辺校において「交流及び共同学習」を実施している。

ふるさとキャリア教育のさらなる充実について

○本県の合計特殊出生率や出生数が前年から低下し、6月25日に出生率低下対策専門家会議を開催した。同会議出席者からは、「学生向けに未来のババママ育み出前教室（いのちの出前教室）をやっているが、その感想でも、子どもや子育てを自分には関係がないとする感想が多くなってきた。」「高校生や大学生にライフプランセミナーを行っているが、自分が子どもを持つイメージがない、あるいは持つ考えがないと答える人が年々増えている」という御意見があった。

○将来のライフスタイルの考察の視点を、ふるさとキャリア教育の学習に盛り込んではどうか。

1 家庭科での学習

○現在、高等学校の家庭科では、「家庭基礎」または「家庭総合」のどちらかを選択し、家族・家庭等について学習することが必須となっている。

[家庭基礎：2単位（週2回1年間）、家庭総合：4単位（週4回1年間）]

【学習指導要領（平成30年告示）の記載 家庭科（高等学校）】

第2章 各学科に共通する各教科 第9節 家庭 第2款 各科目 第1 家庭基礎

2 内容

(1) 生涯の生活設計

イ 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計を工夫すること

(2) 青年期の自立と家族・家庭

イ 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察すること。

※第2 家庭総合においても同様の記載あり

【シラバス・年間指導計画案（家庭総合）】

単元名	学習のめあて
人生をつくる	・ <u>生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。</u>
家族・家庭を見つめる	・ <u>よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。</u> ・ <u>社会制度としての家族や家族と法律を理解する。</u>
これからの家庭生活と社会	・ <u>誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、<u>仕事と家庭の両立</u>や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。</u> ・ <u>誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。</u>
命を育む	・ <u>命に対する責任や、<u>社会の一員として次世代を育む責任</u>を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。</u>

2 参考

【学習指導要領（平成30年告示）の記載 キャリア教育について（高等学校）】

第1章 総則 第5款 生徒の発達の支援 1 生徒の発達を支える指導の充実

(3) 生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要しつつ各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。その中で、生徒が自己の在り方生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。

【鳥取県の「教育に関する大綱」抜粋】

第二編 令和6年度重点取組施策

2 社会全体で子どもを育み地域や家庭で学び合うふるさとキャリア教育の推進

① ふるさとキャリア教育の推進、発展

ふるさと鳥取に愛着と誇りを持ち、郷土を支える人財の育成のため、「美しい星空をはじめとした豊かな自然に触れる機会」や「地域の大人と語り合い多様な価値観に触れる機会」を提供し、ふるさとの良さを感じる体験活動の充実を図ります。身近な大人である保護者や教員がふるさとの優れた企業を知り共有できるよう、親子企業見学ツアー催行や体験発表、ふるさと鳥取の魅力を紹介するCMコンテスト、地域の課題等をテーマに生徒と企業等との協働により地域探究等を行い、その成果発表会等を通じて保護者等への情報発信を強化するほか、課題の探究に県内高等教育機関の学生等と共に取り組むなど高大連携を通じて主体的な学びを深めます。

また、統合型教育ポータルサイトから県内企業情報を生徒にプッシュ型で届けるほか、地元企業若手社員との交流機会の設定、企業と連携したインターンシップや地域で活躍している企業人による講話などを通じて、優れた企業との接触機会を増大させながら、小学校から高等学校までを通じたふるさとキャリア教育の学びを蓄積する「キャリア・パスポート」を活用し、系統的なふるさとキャリア教育に取り組みます。

さらに、農林水産業を学ぶ高校生の県内就業を促進するため、本県独自の「スーパー農林水産業士」の技術認証制度を活用して長期インターンシップに取り組むなど、農林水産分野における本県の将来を支える若き担い手を育成します。

⑤ 家庭教育の充実

基本的な生活習慣の確立や自己肯定感、規範意識等、子どもたちの豊かな心と体を育ていくため、市町村と協力しながら、PTAや地域での保護者の交流や家庭教育支援員等による支援を行うなど、家庭における教育力の向上を促進するとともに、訪問型家庭教育支援をはじめとする「届ける家庭教育支援」の充実を図ります。

さらに、家庭教育アドバイザーや「とっとり子育て・親育ちプログラム」ファシリテーターの派遣、啓発リーフレットの作成・配布など、家庭教育に関する学習機会や情報の提供、相談対応の体制を充実するとともに、鳥取県家庭教育推進協力企業の協定締結を推進、家庭教育の充実に向けた職場環境づくりを進めます。

教科別の学力状況について

・鳥取県の「教育に関する大綱」において、「子どもたちの知識・技能の確実な習得等が課題」であり、全国学力・学習状況調査結果の各教科の県の平均について、全学年全教科で全国平均を上回ることを指標として掲げている。

1 教科別の学力状況

(1) 国語

○全国学力・学習状況調査結果(全国比較)

・以前は平均正答率が全国平均を上回っていたが、平成 29 年に初めて中学校で全国平均を下回り、近年は全国平均を下回る状況が続いている。

【平均正答率の推移(全国比)】

年度	小学校6年			中学校3年		
	鳥取県	全国	差	鳥取県	全国	差
H19	74.20	71.85	2.35	76.95	76.80	0.15
H20	59.85	57.95	1.90	68.40	67.20	1.20
H21	61.70	60.20	1.50	77.85	75.75	2.10
H22	83.40	80.55	2.85	72.10	70.20	1.90
H24	69.70	68.60	1.10	70.60	69.20	1.40
H25	57.15	56.05	1.10	73.10	71.90	1.20
H26	66.75	64.20	2.55	65.35	65.20	0.15
H27	69.15	67.70	1.45	71.55	70.80	0.75
H28	66.60	65.35	1.25	71.90	71.05	0.85
H29	66.50	66.15	0.35	74.50	74.80	△ 0.30
H30	63	62.70	0.30	68	68.65	△ 0.65
H31	63	63.80	△ 0.80	73	72.80	0.20
R3	64	64.70	△ 0.70	63	64.60	△ 1.60
R4	64	65.60	△ 1.60	68	69.00	△ 1.00
R5	67	67.20	△ 0.20	69	69.80	△ 0.80

【全国平均を「0.0」とした際のポイント差の推移】



※鳥取県:国の公表数値でH29以降は整数表記(小数点以下を四捨五入)

全国平均:国の公表数値でH29以降は少数第1位までの表記

差:鳥取県と全国平均の単純比較

(2) 算数・数学

○全国学力・学習状況調査結果(全国比較)

・以前は平均正答率が全国平均を上回っていたが、平成 24 年に初めて小学校で全国平均を下回り、近年は全国平均を下回る状況が継続するとともに、全国平均とのポイント差も縮まらない状況にある。

【平均正答率の推移(全国比)】

年度	小学校6年			中学校3年		
	鳥取県	全国	差	鳥取県	全国	差
H19	74.60	72.85	1.75	67.25	66.25	1.00
H20	62.75	61.90	0.85	57.65	56.15	1.50
H21	68.70	66.75	1.95	61.20	59.80	1.40
H22	63.95	61.75	2.20	55.30	53.95	1.35
H24	65.05	66.10	△ 1.05	56.75	55.70	1.05
H25	69.15	67.80	1.35	53.90	52.60	1.30
H26	68.35	68.15	0.20	63.55	63.60	△ 0.05
H27	59.90	60.10	△ 0.20	52.75	53.00	△ 0.25
H28	61.90	62.40	△ 0.50	53.80	53.15	0.65
H29	61.50	62.25	△ 0.75	55.50	56.35	△ 0.85
H30	56	57.50	△ 1.50	55.50	56.50	△ 1.00
H31	66	66.60	△ 0.60	60	59.80	0.20
R3	69	70.20	△ 1.20	56	57.20	△ 1.20
R4	62	63.20	△ 1.20	51	51.40	△ 0.40
R5	61	62.50	△ 1.50	50	51.00	△ 1.00

【全国平均を「0.0」とした際のポイント差の推移】



※鳥取県:国の公表数値でH29以降は整数表記(小数点以下を四捨五入)

全国平均:国の公表数値でH29以降は少数第1位までの表記

差:鳥取県と全国平均の単純比較

(3) 英語

○全国学力・学習状況調査結果(全国比較)

・平成 31 年(令和元年)度及び令和5年度に実施されたが、全国平均を大きく下回っている。

【平均正答率の推移(全国比)】

年度	中学校3年		
	鳥取県	全国	差
H31	54	56.00	△ 2.00
R5	42	45.60	△ 3.60

○英語教育実施状況調査

※中学校は CEFR A1 レベル(英検3級)程度以上、高等学校は CEFR A2 レベル(英検準2級)程度以上を達成していると思われる生徒の割合

・平成 28 年度以降全国平均を下回る状況が継続していたが、高等学校は令和4年度から、中学校は令和5年度に全国平均を上回った。

【達成度の推移(全国比)】

【全国平均を「0.0」とした際のポイント差の推移】

年度	中学校(CEFR A1以上相当)			高等学校(CEFR A2以上相当)		
	鳥取県	全国	差	鳥取県	全国	差
H25	33.50	32.20	1.30	36.80	31.00	5.80
H26	32.00	34.60	△ 2.60	38.90	31.90	7.00
H27	40.70	36.60	4.10	35.00	34.30	0.70
H28	34.40	36.10	△ 1.70	33.90	36.40	△ 2.50
H29	35.70	40.70	△ 5.00	36.50	39.30	△ 2.80
H30	37.10	42.60	△ 5.50	33.30	40.20	△ 6.90
H31	38.80	44.00	△ 5.20	42.70	43.60	△ 0.90
R3	40.30	47.00	△ 6.70	45.80	46.10	△ 0.30
R4	34.60	49.20	△ 14.60	50.80	48.70	2.10
R5	51.00	50.00	1.00	51.00	50.60	0.40



(4) その他

- ・難関国公立大学の合格者数 [目標] 120 人 [実績] 106 人 (前年 108 人)
- ・県内高卒者の大学等進学率 [目標] 48% [実績] 51.5% (前年 52.1%)

2 補足データ

○主体的な学びが低下傾向にあり、学習意欲を引き出す取組が必要。

・学校の授業が分かる児童生徒の割合

中学校／数学 [目標]74% [実績]71.5% (前年 74.5%)

小学校／算数 [目標]85% [実績]77.1% (前年 79.9%)

・「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の割合

中学校 [目標] 65% [実績] 56.1% (前年 58.3%)

小学校 [目標] 74% [実績] 70.5% (前年 71.3%)

・「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合

中学校 [目標] 75% [実績]66.3%(前年 66.9%)

3 調査結果分析

現行の学習指導要領では、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」が求められ、全国学力・学習状況調査においても、知識偏重ではなく、知識をどのように活用するかについて問われる問題が多く出題される傾向にある。

【国語、算数・数学】

(課題) 全国学力・学習状況調査の調査結果から、「思考・判断・表現」を問う問題の正答率が低く、知識を活用する力に課題がある。長年、基礎学力の定着を重視し、知識・技能を身に付ける丁寧な授業づくりに取り組んできたが、予測困難な時代を前に、その知識をどう活用するかを意識した授業へと転換が求められている。

(対応) 「知識を活用する力」に焦点化した事業を推進し、研究推進校の指定、文部科学省学力調査官等を招聘した教員研修、県独自に作成した研修資料、県指導主事による授業への指導助言等を通して、学力向上を図っている。また、小学4年生から中学3年生に県独自の「とっとり学力・学習状況調査」を実施し、個々の学力の伸びを把握した個に応じた指導を推進するとともに、学力を伸ばした指導の好事例を広く周知し、県全体での授業力の向上を目指している。

【外国語科(英語)】

(課題) 全国学力・学習状況調査(令和5年)では、生徒質問紙において、授業改善に関する項目に肯定的に回答した生徒の割合が全国を上回ったが、全ての問題で正答率が全国を下回った。また、英語教育実施状況調査から、話すことなどの言語活動の実施が不十分であることが課題として明らかとなっている。

(対応) 全国学力・学習状況調査、英検 IBA 等の外部試験のデータを分析して課題を明確にした上で、県指導主事が県内の全ての中学校の授業を参観し、指導助言を行った。また、児童生徒が英語使用機会を確保するために、オンライン英会話レッスンの活用を推進するとともに英語イベントを実施している。

4 主な取組

【国語、算数・数学】

(1) とっとり学力・学習状況調査

児童生徒一人一人の学力の伸びを測る指標となる、県独自の「とっとり学力・学習状況調査」を実施し、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析。その結果から各学校で指導の見直しを行うとともに、学力を伸ばした好事例を報告書にまとめ、周知。また、「非認知能力」や「学習方略」を把握し、教師の意識改革を促す。

(2) 全国学力・学習状況調査問題を活用した取組

① B-PLAN(小学校国語科、算数科)

全国学力・学習状況調査の問題等を單元ごとにまとめた活用問題集を作成し、教師が調査問題をもとに教材研究し、活用力を育成する授業づくりを実施。県指導主事が学校訪問し、授業づくりを直接指導。

② 小学校算数単元到達度評価問題(小学校算数科)

各単元で身に付けさせるべき力が曖昧な授業が多くみられることから、各単元末で到達度を確認するための評価問題を作成し、学習後に児童に実施。その結果から授業づくりのPDCAサイクルを確立。

③ 研修パッケージ(小・中学校国語科、小学校算数科、中学校数学科)

教師が全国学力・学習状況調査の問題を解き、解くために必要な資質・能力について協議することを通して、授業改善を図ることができる研修動画とワークシートを配布し、各学校での実施を推奨。

(3) 思考力・判断力・表現力等を育成する取組

① 子どもが伸びる授業づくりプロジェクト(小学校国語・算数科)

全国学力・学習状況調査で求めている学力について教師の理解が十分でないことから、授業づくりの拠点となる重点校を指定し、全国学力・学習状況調査の問題の意図を熟知している文部科学省学力調査官等を招聘した研修を複数回実施。授業研究会を開催し、そのノウハウを県内に周知。

② 全県の小学校算数訪問の実施

算数の授業を参観する学校訪問を実施。事前に「鳥取県が目指す授業像」や「授業チェックシート」を学校に配布し、授業参観で見取る具体的な視点を示したうえで、適切な指導助言を行った。

③ 研修会等の開催

・学力向上研修(小学校国語科、算数科)

活用力に課題があることから、学力調査官を招聘し、全国学力・学習状況調査の問題を活用した授業づくりについて教員に直接指導。

・中学校(国語科、数学科)定期考査研修会

中学校各教科において、思考力、判断力、表現力等に課題があるため、指導と評価についての理解を深め、授業及び定期考査の改善を推進する研修会を実施。

・全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり研修会(小・中学校国語科、算数・数学科)

「今、求められる資質・能力」を育成する授業改善を推進するため、放課後の時間帯に、全国学力・学習状況調査の出題傾向や授業改善の方向性について解説する研修会をオンラインで実施。

- ・小学校国語科の授業づくり研修会(オンライン)(小学校国語科)
小学校国語科で求められる資質・能力を育成するための授業改善を図るため、実践力の向上を図るためのオンライン研修会を放課後の時間帯に4回シリーズで実施。
- ・体験型研修会(小・中学校国語科)
学習指導要領において示される資質・能力を育成するための授業づくりについて体験的に理解を深め、国語科における指導力向上を図るため、県指導主事による模擬授業を通じた授業づくり研修を実施。
- ④各種動画作成・周知
- ・「今、求められる学力」育成に係る授業づくり研修動画(小・中学校国語科、算数・数学科)
「今、求められる学力」育成する授業づくりを推進するため、鳥取県エキスパート教員の授業実践とともに、授業づくりのポイントを具体的に示し、解説した研修動画を作成、配信。

【外国語科(英語)】

(1)外部試験(英検 IBA)

県内全公立中学生と小学6年生(希望する学校)に外部試験(中1・中2:2技能型英検IBA 中3:4技能型英検IBA 小:英検ESG)を実施

(2)言語活動の充実を目指した取組

①中学校英語訪問

県教育委員会外国語担当指導主事等が、県内全ての中学校・義務教育学校(後期課程)を訪問し、授業参観及び指導助言を行い、指導改善を支援

(3)英語を話す力の育成を目指した取組

①小学生のための1DAYイングリッシュ(小学生対象)

小学生が、ネイティブスピーカーと英語を使いながら様々な活動を通して英語に親しむイベントを開催

②Tottori English Challenge Program 2024(中学生対象)

中・高校生のスピーキング力向上のため、夏季休業中に3日間にわたる目的別のスピーキング講座を開催

③オンラインスピーキング事業への補助(小中学生対象)

オンライン英会話レッスンまたはAI型アプリを導入する市町村に、受講料を支援

④研修会等の開催

- ・小学校英語専科教員等指導力向上研修会
- ・中学校(英語)定期考査研修会
- ・中学校教員のための「とっとり英語学び塾」

・Global Teacher Prize 2023ファイナリストに学ぶ中学校外国語の授業づくり研修会

中学校英語担当教員等が、優れた授業実践参観及び事後研修・協議を行うことを通して、指導の在り方と中学、高校の学びの連続性を意識した授業づくりについて理解を深めることを目的に実施。

・鳥取県英語教育推進フォーラム

外部有識者による講演や県内教員による実践発表を実施。小・中・高等学校の学びのつながりを重視した英語教育の推進や教員の指導力の向上を図る。

⑤各種動画作成・周知

・小・中学校の学びの連続性を意識した中学校入門期の指導のポイントについての動画

小学校での学びを踏まえた中学校1年生での指導のポイントを「小学校での学び」「文字指導」「中学校の教科書の活用」の3つに整理して説明

・ALTとともに作る英語の授業づくり[小学校版]、[中学校版]

ALTと効果的なティーム・ティーチングを行うためのポイントや、授業外でALTと児童生徒が関わ合う場面を充実させるための工夫について、鳥取県内の学校の事例とともに紹介

・小中学校の学びの連続性を意識した指導の充実についての動画

5 今後に向けて

これまでの取組をふまえ、より一層学力向上を推進していくため、鳥取県学力向上推進プラン(第2期・令和6年度から令和9年度)を策定した。このプランでは、鳥取県の課題である児童生徒の思考力、判断力、表現力等の育成を目指し、目標を「自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成」としている。すでに取り組んでいる全国学力・学習状況調査やとっとり学力・学習状況調査、英検IBA等から得られる教育データを最大限活用し、学力向上検討会議で専門家等による分析を行い、その分析をもとに客観的な根拠を重視した学力向上事業を推進していくこととしている。

すべては
子ども一人一人の
笑顔のために

【目標】 自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成

教育データを生かして、一人一人を丁寧に見取り、確実に伸ばす鳥取県ならではの教育の推進

「一人一人の伸び」を把握し
確実に力をつける

市町村(学校組合)教育委員会との密な連携

全国学力・
学習状況調査

今求められる資質・能力
思考力・判断力・表現力

教育
データ

評価

とっとり学力・
学習状況調査

学力の伸び
非認知能力等の測定

英検IBA
英検ESG

CSEスコアの伸び

活用

教育DXの推進

○1人1台端末の効果的活用

- ・クラウドやeラーニング教材等を活用した個別最適、協働的学びの実践
- ・家庭学習との連携

○鳥取県教育プラットフォームの活用

- ・児童生徒一人一人の学習ログ、生活ログの活用

○デジタル教科書の活用

- ・デジタルならではの良さを生かした活用

教育データの活用

○大学等研究機関等との共同研究

- ・教育データを大学と共同で分析・研究
- ・子どもを伸ばす教師の取組、学校の活動を分析

○市町村教育委員会のEBPMの取組を重点支援

- ・データを根拠とした教育施策の立案に向け支援

知見

学力向上
検討会議

提言

授業改善

～児童生徒が、自分の考えを持ち、工夫して表現するために～

指導力向上

○「鳥取県教育の重点」作成

- 子どもが伸びる授業づくりプロジェクト(国・算)
- エキスパート教員による指導技術の普及
- 中学校定期考査改善研修会
- 小学校教科別指導力向上研修
- 教育研究団体と連携した授業づくり研修会
- 学力向上推進校へのスーパーバイザー派遣
- 英語教育推進事業

※小学校高学年における教科担任制の推進

※保幼小の連携強化

※30人学級導入による個に応じた指導の一層の充実

若手育成

○若手教員先進地派遣

- ・連続5日間、著名な教諭からの指導による専門性と意識の向上
- とっとりメンター方式

学校マネジメント力向上

○管理職研修の充実

- ・学校マネジメント研修等
- 学校経営支援
- ・指導主事、管理主事等による学校訪問

令和5年度教育行政の点検及び評価について

令和6年8月21日
教育総務課

1 教育行政の点検及び評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこととされており、この度、鳥取県教育振興基本計画に定める施策項目について、別冊のとおり点検及び評価を実施しましたので、その結果を報告します。

<評価内容一覧>

項目		評価内容			
		A	B	C	合計
1	社会全体で学び続ける環境づくり	2	6	2	10
2	学ぶ意欲を高める学校教育の推進	19	46	14	79
3	学校を支える教育環境の充実	7	10	12	29
4	生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進	4	12	3	19
5	文化、伝統、豊かな自然の継承、再発見、芸術の創造	0	0	2	2
合計		32	74	33	139

・ A評価…23.1% ・ B評価…53.2% ・ C評価…23.7%

<評価区分の考え方>

評価区分	判断基準
A	目標を達成（目標に対して100%以上）
B	目標を概ね達成（目標値に対して90%以上100%未満）
C	目標を下回る（目標値に対して90%未満）

- ・ C評価のうち、目標値に対して80%以上90%未満の項目について、当該年度が前年度を上回っている場合はB評価とする。
- ・ 評価時点（令和6年6月末）で令和5年度数値が判明していない項目については、令和4年度の数値で評価する。
- ・ 目標値が向上となっている項目については、令和4年度の目標値と比較し達成率を算出する。

<目標を達成した主な指標（A評価）>

- ※（ ）内は（実績/目標） ※小…小学校、中…中学校、高…高等学校、特…特別支援学校
- ・ 学校における手話に関する取組の実施率（高100%、特100%/100%）
 - ・ 教員のICT活用指導力の状況（児童生徒のICT活用を指導する能力）の割合（県82.2%、国79.6%/全国平均を上回る）
 - ・ 教職員の年次有給休暇取得日数（夏季休暇を含む）（21日/年間17日以上）
 - ・ 英検準1級以上等の英語力を有する担当教員の割合（高校）（99.1%/向上（R4:90.9%））

<目標を達成できなかった主な指標（C評価）>

- ・ 全国学力・学習状況調査で各教科の最上位層（A～Dの4段階のA層）の割合（中学英語）（県26.8%、国33.8%/全国平均を上回る）
- ・ 全国学力・学習状況調査で各教科の最下位層（A～Dの4段階のD層）の割合（中学英語）（県20.0%、国17.0%/全国平均を下回る）
- ・ 県立高等学校（全日制課程）の定員に対する入学者数の割合（70%を上回った高校68.2%/向上（R4目標値:全ての高校で70%を上回る、実績値:63.6%））
- ・ 教員の精神性疾患による休職者数の出現率（0.82%/0.5%以下）
- ・ 不登校出現率の減（小:県1.74% 国1.7%、中:県6.06% 国5.98%、高:県2.14% 国2.04%/全国平均を下回るとともに、低減（R3:小:県1.4% 中:県4.48% 高:県1.98%））

2 点検の概要

[目標] 2-(8)-④ 特別支援学校の在り方の検討及び特別支援教育環境の整備

○計画・取組状況

- ・各特別支援学校との意見交換、他県の先進校視察、県教育委員会 WT による議論等により今後の特別支援教育の在り方について検討した。

○課題

- ・障がいの重度重複化及び少子化に対応した特別支援学校の在り方についての検討が必要。

○今後の取組

- ・外部有識者等を含む検討会を開催し、今後の特別支援教育の在り方について検討する。
- ・LD 等専門員の派遣、相談活動の強化及び特別支援学校のセンター的機能の活用により、全ての教職員が障がいの特性や基本的な知識・技能及び支援方法等、特別支援教育に関する指導力を高めるための取組を推進する。

[目標] 2-(9)-② 技術革新・高度情報化に対応した人材の育成、ICT 活用教育の推進

○計画・取組状況

- ・利活用が滞っている学校に対し、ICT 教育指導員、教育 DX 推進員による個別支援等の実施により利用を促した。
- ・学校ごとの ICT 活用課題に対応した研修を行う学校訪問型研修を 50 校、1,300 人の教員に対して実施し、県内全域の教員の指導力向上を図るとともに、教職員の ICT 活用レベルに応じた研修を実施した。

○課題

- ・市町村や学校、教員間で ICT 活用の必要性に対する意識や活用状況、学校現場の教員の機器操作スキル、授業での効果的な活用スキルなどの差が生じており、学校や教員の ICT 活用指導力の向上が急務。

○今後の取組

- ・各圏域に ICT 支援員を継続配置し、教員の ICT 活用能力のさらなる底上げを図る。
- ・令和 4 年度からの特別支援学校における ICT 活用実践研究を引き続き実施し、教員の ICT 活用能力の向上を図る。
- ・ICT 活用教育推進校、とっとりリーディング DX スクール推進事業校を指定し、児童・生徒の情報活用能力や教員の指導力の育成を推進。
- ・県教委指導主事及び ICT 教育指導員・教育 DX 推進員等による取組支援等により、1 人 1 台端末やクラウドを活用した取組を実践し、情報活用能力の更なる向上を図る。

[目標] 3-(10)-① 県立高校の魅力化・特色化

○計画・取組状況

- ・令和 6 年 3 月、令和新時代の県立高等学校教育の在り方に関する基本方針（令和 8 年度から令和 17 年度）を策定した。
- ・県外からの進学を検討する中学生、保護者向けのオンライン学校説明会に県立高校（青谷、倉農、日野）が参加し、生徒の募集活動を行うとともに、YouTube 広告を活用した全国 PR を実施し、県外からの問い合わせや視察につながった。
- ・倉吉東高校に令和 5 年度に国際バカロレア一期生が入学し、令和 6 年度の本格実施に向けて、学習環境の整備、人材育成、広報活動等を実施。

○課題

- ・令和新時代の魅力ある新しい高等学校及び学科の在り方や高等学校の質を問うような抜本的な改革の道筋を明らかにしていくことが必要。

○今後の取組

- ・令和新時代の県立高等学校教育の在り方に関する基本方針に基づき、方針の具現化を進めるとともに、基本計画の策定を進める。
- ・県外生徒の受入れについて、地域との連携を強化し、その地域に合った受入方法を検討するとともに、引き続き下宿の受入れ先の開拓や、学生寮の設置の可能性等について調査、

研究を進める。また、地元自治体が連携して運営支援する民間寮について、入居者が一定数を満たさない場合の支援を行うなど受入れ態勢の拡充を図る。

- ・国際バカロレア教育について、担当教員のスキルアップ等を行うほか、説明会の開催及びSNS等を活用した広報等による認知度向上を進める。

[目標] 3-(11)-① 魅力ある教員の確保

○計画・取組状況

- ・オンデマンド説明会(動画配信)やオンラインによる教員採用説明会を実施するとともに、県教育委員会公式X(旧Twitter)及び公式YouTubeを活用して、鳥取県で教員になることの魅力等、志願者確保に向けて情報発信をした。
- ・全国一早い教員採用試験を実施し、令和5年度から全試験区分の第一次選考試験を関西会場場で実施し、全試験区分合計で前年比+142人の志願者を集めることができた。
- ・教職志向性の高い高校生の開拓から教員採用まで、一つのベクトル上に乗る取組として、島根大学教育学部に体験入学する「未来の教師」育成プロジェクトを実施。(オンライン実施 県内高等学校8校・114人参加)

○課題

- ・今後の教員の大量退職、令和3年度以降の国による小学校の35人学級を一步進めた鳥取県独自の小学校の30人学級の計画的な実施等を踏まえ、質の高い教員の確保が必要。

○今後の取組

- ・「とっとり教授アンバサダー」を活用したプロモーション動画の作成やGoogle検索エンジン・Yahoo!ディスプレイのインターネット広告等の活用によるプロモーション活動の拡充。
- ・ICT活用に関する技能・実技試験の全試験区分実施、小学校教諭の専門試験(筆記試験)において、数学・理科に傾斜配点を行う数学・理科重視型の実施により、ICT活用スキルを有する教員や小学校における教科担任制の推進を見据えた採用の促進。
- ・「未来の教師」育成プロジェクトについて、教職をテーマとした特別な島根大学体験入学等の取組を島根大学と連携して進める。

[目標] 3-(13)-② 不登校対策の推進

○計画・取組状況

- ・スクールカウンセラーを中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の全校に配置。
- ・自宅学習支援員を配置し、eラーニング教材を活用した不登校児童生徒への自宅学習支援を行った。
- ・通常の学級での学習や集団での生活等が困難となった不登校(傾向)生徒の支援を行うため、「校内サポート教室」を県内10中学校に拡大して設置。
- ・県立夜間中学設置準備等に係る懇談会を開催し、出された意見を参考に、県立夜間中学の校名(鳥取県立まなびの森学園)及び入学者募集方針を決定し入学者募集をした。

○課題

- ・不登校の出現率が上昇しており、不登校の要因・背景の見立てや児童生徒への理解に基づいた適切な支援を早期に行い未然防止することの重要性について、教職員の意識を高めていく必要がある。

○今後の取組

- ・不登校児童生徒が抱える諸課題における支援の充実を図るため、市町村教育委員会との連携を強化し、協働して学校の支援を行う。
- ・不登校の要因の一つである不安への対処法について、スクールカウンセラーによる児童生徒への心理教育の推進を図る。
- ・校内サポート教室(不登校(傾向)生徒の支援)を継続設置し、eラーニング教材を活用した不登校児童生徒への自宅学習支援を引き続き行う。

[目標] 5-(20)-① 県立美術館の整備推進・美術を通じた学びの支援

○計画・取組状況

- ・令和7年3月の開館に向けて、子どもたちをはじめ、すべての人たちの「アートを通じた学び」を支援するアート・ラーニング・ラボ（A. L. L.）機能の充実に向けて、ミュージアム・スタート・バスプログラムの試行、年齢や障がいの状況等にあわせた多様な鑑賞プログラムの開発やワークショップを実施した。

○今後の取組

- ・学校教育との連携に重点を置きながら、幅広い年代や障がいのある方などすべての人々の「アートを通じた学び」への支援、地域住民や県内外の専門家等との協同による取組みも視野に入れて、アート・ラーニング・ラボ（A. L. L.）機能の充実に向けた具体的な準備を進める。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について

令和6年8月21日

小中学校課

令和6年4月18日（木）に実施した全国学力・学習状況調査について、本県の調査結果を以下のとおりご報告します。

【教科調査】

- ・全国の平均正答率と比較すると、小学校国語及び小学校算数では差が見られなかった。中学校国語、中学校数学は下回った。
- ・小学校国語では、重点的に取り組んできた「思考・判断・表現」及び「記述問題」で正答率に改善の傾向が見られた。
- ・中学校では、数学の「思考・判断・表現」を問う問題で昨年度より改善が見られるものの、「知識・技能」も含めさらなる改善が必要である。

【質問調査】

- ・児童生徒の「将来の夢や目標を持っている」「地域や社会をよくしよう」という意識が昨年度よりも高まっている。
- ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組による地域連携の意識を問う回答の割合が、小中学校ともに全国平均を上回ったことから各学校におけるふるさとキャリア教育が推進されていると考えられる。
- ・授業で自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表することについては全国平均を下回った。

1 教科調査・質問調査の状況分析

(1) 教科調査 教科調査平均正答率 (%)

	国語		算数・数学	
	本県 (公立)	全国 (公立)	本県 (公立)	全国 (公立)
小学校6年	68 →	67.7	63 →	63.4
中学校3年	57 ↓	58.1	50 ↓	52.5

※文部科学省は、平成29年度より小数点以下を四捨五入し整数値で公表している。
※本県は±1%以内は「全国平均と差はみられない」として取り扱っている。

「思考・判断・表現」を問う問題の全国平均との差

学校・教科	R4	R5	R6
小学校国語	-2.0	+0.1	+0.2 ↑
小学校算数	-1.6	-1.4	-1.6 ↓
中学校国語	-1.1	-1.6	-1.9 ↓
中学校数学	-1.4	-2.6	-2.0 ↑

「記述問題」の全国平均との差

学校・教科	R4	R5	R6
小学校国語	-0.5	+1.7	+2.9 ↑
小学校算数	-0.4	-1.1	-0.5 ↑
中学校国語	-1.6	-1.0	-1.4 ↓
中学校数学	-1.4	-2.6	-2.0 ↑

(2) 質問調査

- 県独自調査のとりとり学力・学習状況調査と全国学力・学習状況調査からわかる教育データを関連付けて分析するなど、活用が進みつつある。
- コミュニティ・スクール等の取組の充実により、学校と地域や保護者との連携が深まっている。
- ▲自分の考えを工夫して表現することに関しては引き続き課題が見られ継続した取組が必要である。
- ▲授業における一人一台端末の活用は急速に進んでいるが、その活用方法についてはさらなる工夫が必要である。

2 成果と課題

- 小学校において、算数の全校訪問や活用問題集「B-PLAN」、単元到達度評価問題」の活用、調査官等を招聘した研修を行うことで、育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりについて継続して一貫したメッセージを伝えてきた結果、思考力、判断力、表現力等の育成をポイントとした授業改善に取り組む学校が増え、正答率に成果が見られた。
- ふるさとキャリア教育が推進され、学校と地域や保護者との相互理解が深まるとともに、地域や社会とつながり地域や社会のために活動しようとする人材の育成が進んだ。
- ▲中学校数学において、生徒質問調査の「数学の授業がよくわかりますか」の問いで全国平均を大きく下回り、「知識・技能」を問う基本的な問題の正答率が低いことから、生徒がわかる・できる授業の実践が不十分であると考えられる。
- ▲教員が定期的に校外の研究会に参加したり、探究的な学びなど新しい教育に対応するために校内研修をしたりする割合が全国平均より低いことから、研修を受ける機会が整っていないことが考えられる。

3 今後の取組

市町村教育委員会と連携し、支援を必要とする学校に対して県指導主事等が学校を訪問して一緒に授業づくりについて取り組むなど重点的な支援を行う。

主な取組	内容
とりとり学力・学習状況調査を活用した授業改善	・児童生徒の <u>非認知能力や学習方略、昨年度からの児童生徒の学力の伸びを把握</u> し、授業や学級経営に生かせるよう、その活用方法を情報提供し、支援
全国学力・学習状況調査を活用した授業改善	・「 <u>研修パッケージ</u> 」をリニューアルし、校内研修等での活用を促し授業改善を推進 ・ <u>中学校数学における活用問題集「B-PLAN」を活用した「わかる・できる」授業づくりの推進</u>
思考力、判断力、表現力等の育成を目指した取組	・「 <u>鳥取県教育の重点</u> 」の活用 ・全国学調に深く関わっている <u>教科調査官等を招聘</u> し、授業研究会を伴う研修会を開催 ・ <u>中学校定期考査研修会の開催及び中学校教育研究団体等と連携した研修会の実施</u>
学力向上検討会議の開催	・外部専門家（文科省専門官、大学教授、市町村首長等）による学力向上検討会議を開催。 <u>教育データを分析</u> することで今後の学力向上事業について検討

【教科調査】

(改善がみられる点)

小学校国語・算数	効果のあった取組
<ul style="list-style-type: none"> 国語においては、「思考・判断・表現」を問う問題や記述式で回答する問題の正答率が昨年度よりさらに向上した。 算数においては、「知識・技能」を問う問題の正答率が向上した。 国語・算数ともに、無解答率が全国より低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修等で活用できる全国学力・学習状況調査問題を使った研修動画とワークシートを組み合わせた県独自の研修資料「研修パッケージ」を、小学校国語・算数、中学校共通・国語・数学について作成し、授業展開例等の具体を示した。 全国学調の問題作成に携わっている調査官等を講師として招聘し、授業研究会を伴う研修会を開催し、今求められる資質・能力を育成するための授業改善を推進した。
中学校国語・数学	
<ul style="list-style-type: none"> 国語においては、「書くこと」を問う問題で、昨年度より正答率が向上した。 数学においては、「思考・判断・表現」を問う問題で正答率が向上した。また、記述式の問題形式で正答率が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程研究集会で学習指導要領の趣旨を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について周知を図った。 全国学力・学習状況調査の問題や結果を活用した授業づくり研修会を実施し、授業改善の方向性について周知を図った。

(課題のある点)

小学校国語・算数	今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> 国語においては、「書くこと」「読むこと」に比べて「話すこと・聞くこと」を問う問題の正答率が全国平均と比べて低かった。 算数においては、「思考・判断・表現」を問う問題で正答率が全国平均を下回った。 	<p>効果のあった取組については引き続き実施する。今年度新たに以下のことに重点的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「研修パッケージ」を令和6年度版にリニューアルし、引き続き周知を図ることで校内研修等での活用を推進する。 「自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成」を重点課題として示した資料「鳥取県教育の重点」を徹底することで、思考力、判断力、表現力等の育成を意識した授業改善を推進する。 中学校数学では、活用問題集「B-PLAN」の問題を毎月配信するなど活用を促し、ねらいを明確にした授業づくりを推進する。 中学校定期考査研修会について教育課程研究集会や校長会を通して研修への参加を募る。「思考・判断・表現」を問う問題の作成を知ることで定期考査及び授業の改善を図る。 中学校教育研究団体との連携を強化し、研究を推進する。
中学校国語・数学	
<ul style="list-style-type: none"> 国語においては、「話すこと・聞くこと」「読むこと」を問う問題の正答率が全国平均を下回った。また、全国平均と比べて正答率の上位層が少なく、下位層が多かった。 数学においては、下位層の割合が多く、すべての領域において全国平均を下回った。 	

【質問調査】

※上段小学校、下段中学校

※全国と比較して、よくできている点 (◎)、同程度 (○)、課題のある点 (▲)

項目	内容	R6 値	R5 値	全国比	
授業改善	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	79.4 ↑ 86.2 ↑	74.2 77.3	-1.9 +4.0	▲ ◎
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している	59.5 ↑ 59.9 ↑	57.8 58.1	-8.1 -4.9	▲ ▲
	算数・数学の授業の内容はよくわかる	79.5 ↑ 71.4	77.1 71.5	-2.6 -4.3	▲ ▲
ICT 活用	自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使用させている(週1回以上)	71.5 ↑ 73.3 ↑	62.2 66.0	-12.1 -8.8	▲ ▲
	授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用している(ほぼ毎日)	22.2 47.1 ↑	30.7 43.5	-3.1 +16.1	▲ ◎
	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしている	91.4 ↑ 78.3 ↑	63.8 52.6	+5.1 -6.1	◎ ▲
ふるさとキャリア教育	将来の夢や目標を持っている	81.8 ↑ 66.5 ↑	81.2 66.3	-0.6 +0.2	○ ○
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	83.6 ↑ 76.8 ↑	79.9 68.1	+0.1 +0.7	○ ○
	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった	93.1 ↑ 91.7 ↑	89.0 77.9	+4.2 +7.6	◎ ◎
研修・校内研修	児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている	81.8 ↑ 75.0 ↑	73.9 72.9	-8.2 -10.7	▲ ▲
	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等へ反映を行った	93.1 93.3 ↑	97.5 89.9	+0.3 +4.0	○ ◎
	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している(オンライン参加を含む)	76.7 ↑ 76.7 ↑	74.0 76.3	-9.7 -7.4	▲ ▲
	教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合った(学期に数回程度以上)	94.8 ↑ 75.0	91.6 79.6	+2.1 -11.0	○ ▲

1 全国学力・学習状況調査のねらい（鳥取県）

全国学力・学習状況調査を通して、児童生徒に、学習指導要領で求めている「教科の見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けて深く理解したり情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすること」が実現されているかを測るとともに、課題を明確にし、授業改善の方向性を示す。

2 実施状況

（1）小学校6年

実施校117校（小学校111、義務教育学校6）

教科等	国語	算数	質問調査
人数	4,255	4,257	4,353

（2）中学校3年

実施校60校（中学校50、分校2、義務教育学校6、特別支援学校2）

教科等	国語	数学	質問調査
人数	4,167	4,169	4,184

3 教科調査の概要

（1）小学校6年

【平均正答率】

[単位：％]

	国語				算数			
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
R6	68	67.7			63	63.4		
R5	67	67.2			61	62.5		
R4	64	65.6			62	63.2		
R3	64	64.7			69	70.2		
H31	63	63.8			66	66.6		
	国語A		国語B		算数A		算数B	
H30	71	70.7	55	54.7	62	63.5	50	51.5
H29	76	74.8	57	57.5	77	78.6	46	45.9

国語 14問 ◆平均正答率・・・68%(67.7%) ()内は全国平均

<全国平均と比べて比較的できている点>

- ・「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題 60.8%(56.6%)
- ・「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる」問題 74.3%(72.6%)

<全国平均と比べて課題がある点>

- ・「話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる」問題 74.5%(75.9%)
- ・「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題 51.3%(52.9%)

算数 16問 ◆平均正答率・・・63%(63.4%) ()内は全国平均

＜全国平均と比べて比較的できている点＞

- ・「除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる」問題 71.5%(70.1%)
- ・「速さの意味について理解しているかどうかをみる」問題 55.3%(54.1%)

＜全国平均と比べて課題がある点＞

- ・「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる」問題 65.1%(70.0%)
- ・「示された情報をもとに表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる」問題 46.1%(49.3%)
- ・「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題 54.6%(56.9%)

(2) 中学校3年

【平均正答率】

[単位：%]

	国語		数学				英語		
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	
R6	57	58.1			50	52.5			
R5	69	69.8			50	51.0	42	45.6	
R4	68	69.0			51	51.4			
R3	63	64.6			56	57.2			
H31	73	72.8			60	59.8	54	56.0	
	国語A		国語B		数学A		数学B		英語
H30	76	76.1	60	61.2	66	66.1	45	46.9	
H29	77	77.4	72	72.2	63	64.6	48	48.1	

国語 15問 ◆平均正答率・・・57%(58.1%) ()内は全国平均

＜全国平均と比べて比較的できている点＞

- ・「行書の特徴を理解しているかどうかをみる」問題 79.8%(75.6%)
- ・「意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」問題 44.6%(44.0%)

＜全国平均と比べて課題がある点＞

- ・「資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる」問題 63.9%(68.5%)
- ・「文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる」問題 49.6%(53.8%)

数学 16問 ◆平均正答率・・・50%(52.5%) ()内は全国平均

＜全国平均と比べて比較的できている点＞

- ・「簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる」問題 73.5%(73.1%)
- ・「複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる」問題 50.2%(48.5%)

＜全国平均と比べて課題がある点＞

- ・「等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる」問題 46.6%(52.5%)
- ・「連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる」問題 29.6%(34.8%)
- ・「与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる」問題 69.6%(74.3%)
- ・「筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる」問題 22.8%(25.8%)

4 児童生徒質問調査の概要 [下線…肯定的な回答について、全国平均を上回っている数値]

(1) 教科に関するもの ※結果に特徴の見られるもの

【小学校6年 国語】

- ・「国語の勉強は好きですか」 63.1%(62.0%)
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」 94.1%(94.5%)
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」 85.7%(86.3%)
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 93.9%(93.2%)

【小学校6年 算数】

- ・「算数の勉強は好きですか」 59.1%(61.0%)
- ・「算数の勉強は大切だと思いますか」 95.1%(94.6%)
- ・「算数の授業の内容はよく分かりますか」 79.5%(82.1%)
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 95.3%(94.1%)

【中学校3年 国語】

- ・「国語の勉強は好きですか」 66.4%(64.3%)
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」 94.4%(93.9%)
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」 82.0%(82.7%)
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 90.8%(90.6%)

【中学校3年 数学】

- ・「数学の勉強は好きですか」 56.7%(57.2%)
- ・「数学の勉強は大切だと思いますか」 87.9%(87.2%)
- ・「数学の授業の内容はよく分かりますか」 71.4%(75.7%)
- ・「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 79.9%(78.5%)

(2) 教育に関する大綱に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
自分には、よいところがあると思いますか	83.9% (84.1%)	82.7% (83.3%)
将来の夢や目標を持っていますか	81.8% (82.4%)	66.5% (66.3%)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	83.6% (83.5%)	76.8% (76.1%)

(3) 授業改善に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上)	22.2% (25.3%)	47.1% (31.0%)
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	59.5% (67.6%)	59.9% (64.8%)
これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	79.3% (81.9%)	81.9% (80.3%)
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	83.9% (84.3%)	83.1% (80.9%)
学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていましたか	85.5% (86.3%)	87.7% (86.1%)
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	88.1% (87.9%)	86.6% (84.9%)

(4) 基本的な生活習慣に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
朝食を毎日食べていますか	<u>94.7%</u> (93.7%)	<u>92.8%</u> (91.2%)
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	<u>84.4%</u> (82.9%)	<u>84.2%</u> (80.7%)
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	<u>91.8%</u> (91.6%)	<u>93.4%</u> (92.5%)

5 学校質問調査の概要 [下線…肯定的な回答について、全国平均を上回っている数値]

(1) 授業改善に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	81.0% (88.2%)	81.7% (88.4%)
児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表をできていると思いますか	60.4% (78.3%)	76.6% (82.7%)
児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	79.3% (87.2%)	80.0% (89.7%)
前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか	87.1% (89.3%)	75.0% (85.1%)
前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	81.1% (87.4%)	80.0% (86.6%)

(2) ICT活用に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週1回以上)	71.5% (83.6%)	73.3% (82.1%)
児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週1回以上)	61.3% (73.8%)	60.0% (69.6%)
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか	<u>91.4%</u> (86.3%)	78.3% (84.4%)

(3) その他、教育活動に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか(学期に数回程度以上)	<u>94.8%</u> (92.7%)	75.0% (86.0%)
児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	81.8% (90.0%)	75.0% (85.7%)
全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	<u>93.1%</u> (92.8%)	<u>93.3%</u> (89.3%)
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか	<u>93.1%</u> (88.9%)	<u>91.7%</u> (84.1%)

令和6年度全国学力・学習状況調査

【小学校】児童質問調査結果から

上	全国平均より3ポイント以上上回っている項目
下	全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
1	朝食を毎日食べていますか	94.7	93.7	1.0
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.4	82.9	1.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.8	91.6	0.2
4	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除きます)。	71.7	74.1	-2.4
5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含みます)。(1時間未満)	24.3	25.7	-1.4
6	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)。(1時間未満)	53.2	49.0	4.2
7	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	67.0	71.1	-4.1
8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。	80.9	82.3	-1.4
9	自分には、よいところがあると思う	83.9	84.1	-0.2
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	92.8	89.9	2.9
11	将来の夢や目標を持っている	81.8	82.4	-0.6
12	人が困っているときは、進んで助けている	92.2	92.7	-0.5
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.5	96.7	0.8
14	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	67.3	67.1	0.2
15	人の役に立つ人間になりたいと思う	95.5	95.9	-0.4
16	学校に行くのは楽しいと思う	83.7	84.8	-1.1
17	自分と違う意見について考えるのは楽しい	72.0	75.8	-3.8
18	友達関係に満足している	91.6	91.1	0.5
19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	91.3	91.7	-0.4
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	80.1	80.7	-0.6
21	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。(2時間以上)	17.7	23.5	-5.8
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。(3時間以上)	6.4	11.6	-5.2
23	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)(26冊以上)。	64.7	64.1	0.6
24	新聞を読んでいますか(週に1回以上)。	12.9	11.6	1.3

【小学校】児童質問調査結果から

上	全国平均より3ポイント以上上回っている項目
下	全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	83.6	83.5	0.1
26	放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか(複数選択)。			
27	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(ほぼ毎日)。	22.2	25.3	-3.1
28-1	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	85.1	85.5	-0.4
28-2	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	91.2	92.1	-0.9
28-3	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる	86.7	86.0	0.7
28-4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかる	90.2	89.8	0.4
28-5	ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	76.4	79.2	-2.8
28-6	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	83.3	86.1	-2.8
28-7	ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる	86.4	87.1	-0.7
29	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	59.5	67.6	-8.1
30	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	79.3	81.9	-2.6
31	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	77.4	79.6	-2.2
32	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	83.9	84.3	-0.4
33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	85.5	86.3	-0.8
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	79.9	80.8	-0.9
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う	84.5	83.7	0.8
36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	88.1	87.9	0.2
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	92.0	91.6	0.4
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	79.4	81.3	-1.9
39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	87.1	84.2	2.9
40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	84.3	82.5	1.8
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	87.6	88.2	-0.6
42	国語の勉強は好きだ	63.1	62.0	1.1
43	国語の勉強は大切だ	94.1	94.5	-0.4
44	国語の授業の内容はよく分かる	85.7	86.3	-0.6
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	93.9	93.2	0.7

【小学校】児童質問調査結果から

上線	全国平均より3ポイント以上上回っている項目
下線	全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
46	国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している	76.7	78.3	-1.6
47	国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている	79.2	80.0	-0.8
48	国語の授業で、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている	82.2	83.2	-1.0
49	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	82.9	84.4	-1.5
50	算数の勉強は好きだ	59.1	61.0	-1.9
51	算数の勉強は大切だ	95.1	94.6	0.5
52	算数の授業の内容はよく分かる	79.5	82.1	-2.6
53	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.3	94.1	1.2
54	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	76.7	77.9	-1.2
55	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	83.3	83.3	0.0
56	算数の授業で問題を解けたとき、別の解き方を考えようとしている	62.7	63.6	-0.9
57	算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	84.1	84.6	-0.5
58	理科の勉強は好きですか	85.6	83.6	2.0
59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持った問題を見出したりすることがあります	82.7	83.2	-0.5
60	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている	84.7	85.6	-0.9
61	英語の勉強は好きですか	67.8	69.3	-1.5
62	英語の勉強は大切だと思う	91.1	92.1	-1.0
63	英語の授業の内容はよく分かる	77.0	78.3	-1.3
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	85.0	79.1	5.9
国2	解答時間は十分でしたか(45分)	76.1	68.5	7.6
算1	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	83.4	78.7	4.7
算2	解答時間は十分でしたか(45分)	85.7	84.2	1.5

※色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

令和6年度全国学力・学習状況調査

【中学校】生徒質問調査結果から

 全国平均より3ポイント以上上回っている項目

下線 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
1	朝食を毎日食べていますか	92.8	91.2	1.6
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.2	80.7	3.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.4	92.5	0.9
4	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除きます)	69.3	71.2	-1.9
5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話はスマートフォンを使ったゲームも含みます)をしますか。	28.7	28.9	-0.2
6	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除きます)	24.0	19.9	4.1
7	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	65.8	72.2	-6.4
8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	75.1	76.7	-1.6
9	自分には、よいところがあると思いますか	82.7	83.3	-0.6
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.3	90.4	1.9
11	将来の夢や目標を持っていますか	66.5	66.3	0.2
12	人が困っているときは、進んで助けていますか	88.8	90.1	-1.3
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.6	95.7	-0.1
14	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	71.5	67.5	4.0
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.3	95.2	0.1
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.9	83.8	-0.9
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	75.3	76.2	-0.9
18	友達関係に満足していますか	90.5	90.1	0.4
19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	88.8	89.8	-1.0
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか	80.1	78.6	1.5
21	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	23.4	31.7	-8.3
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	11.9	15.5	-3.6
23	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く。)(26冊以上)	59.9	59.7	0.2
24	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	10.7	7.3	3.4
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	76.8	76.1	0.7

【中学校】生徒質問調査結果から

全国平均より3ポイント以上上回っている項目

下線 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
26	放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか			
27	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(ほぼ毎日)	47.1	31.0	16.1
28-(1)	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができますか	84.4	80.2	4.2
28-(2)	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができますか	94.6	93.9	0.7
28-(3)	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができますか	85.7	82.4	3.3
28-(4)	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかりますか	89.2	89.0	0.2
28-(5)	ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができますか	81.2	77.7	3.5
28-(6)	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなりますか	88.7	86.2	2.5
28-(7)	ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができますか	88.8	85.2	3.6
29	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	59.9	64.8	-4.9
30	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.9	80.3	1.6
31	1, 2年生のとき受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	77.4	75.4	2.0
32	1, 2年生のとき受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	83.1	80.9	2.2
33	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	87.7	86.1	1.6
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	80.5	77.9	2.6
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができていますか	80.9	79.0	1.9
36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	86.6	84.9	1.7
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	92.7	92.3	0.4
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	86.2	82.2	4.0
39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	89.4	86.3	3.1
40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	85.5	80.6	4.9
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.5	91.7	0.8
42	国語の勉強は好きですか	66.4	64.3	2.1
43	国語の勉強は大切だと思いますか	94.4	93.9	0.5

【中学校】生徒質問調査結果から

全国平均より3ポイント以上上回っている項目

下線 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
44	国語の授業の内容はよく分かりますか	82.0	82.7	-0.7
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.8	90.6	0.2
46	1, 2年生の時に受けた国語の授業で、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか	79.3	78.7	0.6
47	1, 2年生の時に受けた国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	81.3	80.5	0.8
48	1, 2年生の時に受けた国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか	77.7	76.7	1.0
49	1, 2年生の時に受けた国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	83.2	82.0	1.2
50	数学の勉強は好きですか	56.7	57.2	-0.5
51	数学の勉強は大切だと思いますか	87.9	87.2	0.7
52	数学の授業の内容はよく分かりますか	71.4	75.7	-4.3
53	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.9	78.5	1.4
54	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	58.1	57.2	0.9
55	数学の問題が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	79.1	78.1	1.0
56	数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	47.8	46.0	1.8
57	数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	76.3	77.0	-0.7
58	理科の勉強は好きですか	69.3	68.3	1.0
59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見だしたりすることがあります	71.5	70.7	0.8
60	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	71.3	71.5	-0.2
61	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	83.7	83.3	0.4
62	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	86.8	85.6	1.2
63	1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	72.0	68.8	3.2
64	1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	81.2	82.4	-1.2
65	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	86.3	85.7	0.6
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	92.6	93.2	-0.6
国2	解答時間は十分でしたか(50分)	78.2	74.5	3.7
数1	今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	91.9	91.6	0.3
数2	解答時間は十分でしたか(50分)	73.6	73.6	0.0

※色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

令和6年度全国学力・学習状況調査 【小学校】質問調査結果から		6年間の比較 ※網掛けは質問項目がなかったもの					
R6 番号	質問事項	R6	R5	R4	R3	R1	H30
		肯定的な回答(%)					
1	朝食を毎日食べていますか	94.7	94.6	95.3	95.9	96.1	95.3
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.4	81.5	82.7	84.9	82.3	78.6
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.8	91.2	91.5	92.0	91.8	89.6
4	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除きます)。	71.7					
5	普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(1時間未満)	24.3		24.5	28.3		
6	普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)(1時間未満)	53.2		54.2			
7	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	67		70.4	68.6		
8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。	80.9					
9	自分には、よいところがあると思いますか	83.9	84.3	79.0	78.8	81.7	83.6
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.8	93.1	90.6		89.1	88.1
11	将来の夢や目標を持っていますか	81.8	81.2	79.6	78.6	82.2	81.5
12	人が困っているときは、進んで助けていますか	92.2	92.0	87.5	88.8	88.2	
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.5	97.7	97.3	97.0	97.3	97.4
14	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	67.3	70.1	68.9			
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.5	96.7	95.1	95.3	96.1	95.9
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	83.7	84.0	83.7	80.6	84.6	
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	72	73.6	69.2	65.9		
18	友達関係に満足していますか	91.6	91				
19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	91.3	90.9				
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	80.1					
21	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	17.7	20.7	20.0	22.4	23.5	22.4
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	6.4	9.5	9.1	10.4		
23	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)(26冊以上)	64.7	65.2	69.4	69.2		
24	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	12.9	14.9	17.3	18.9	23.1	24.2
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	83.6	79.9				
26	放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか(複数選択)						
27	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(ほぼ毎日)	22.2	30.7	29.8	5.1	8.0	
28-1	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	85.1					
28-2	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	91.2					

令和6年度全国学力・学習状況調査 【小学校】質問調査結果から		6年間の比較 ※網掛けは質問項目がなかったもの					
R6 番号	質問事項	R6	R5	R4	R3	R1	H30
		肯定的な回答(%)					
28-3	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる	86.7					
28-4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかる	90.2					
28-5	ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	76.4					
28-6	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	83.3					
28-7	ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる	86.4					
29	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	59.5	57.8	59.4	60.7	59.2	60.0
30	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	79.3	76.4	75.6	77.4	77.5	76.4
31	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	77.4	72.3	68.9	68.7		
32	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	83.9	82.8	79.2	82.2		
33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	85.5					
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	79.9	76.7	77.5	80.8		
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	84.5					
36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	88.1	94.3				
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	92					
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	79.4	74.2	70.4	75.4	64.8	
39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	87.1	81.6	77.7	79.1	78.5	
40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	84.3	78.1	76.0	77.7	77.0	
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	87.6	83.5	78.4	82.2	78.7	
42	国語の勉強は好きですか	63.1	61.3	60.8	60.7	65.6	
43	国語の勉強は大切だと思いますか	94.1	94.7	93.3	92.9	93.2	
44	国語の授業の内容はよく分かりますか	85.7	83.9	82.8	84.0	85.1	
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.9	93.7	92.3	91.6	92.4	
46	国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している	76.7					
47	国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている	79.2					
48	国語の授業で、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている	82.2					
49	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	82.9	80.0				
50	算数の勉強は好きですか	59.1	59.8	62.3	67.4	63.1	58.5
51	算数の勉強は大切だと思いますか	95.1	94.2	94.2	93.9	93.3	91.7
52	算数の授業の内容はよく分かりますか	79.5	77.1	79.9	84.2	79.2	80.8

令和6年度全国学力・学習状況調査 【小学校】質問調査結果から		6年間の比較 ※網掛けは質問項目がなかったもの					
R6 番号	質問事項	R6	R5	R4	R3	R1	H30
		肯定的な回答(%)					
53	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.3	93.8	93.5	93.0	93.0	91.0
54	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	76.7		67.2	73.0	73.8	60.1
55	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	83.3		80.7	83.6	82.3	81.7
56	算数の授業で問題を解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	62.7					
57	算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	84.1					
58	理科の勉強は好きですか	85.6		82.5			80.9
59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見出したりすることがありますか	82.7					
60	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	84.7		76.8			72.8
61	英語の勉強は好きですか	67.8	67.0		69.9		
62	英語の勉強は大切だと思いますか	91.1	90.8				
63	英語の授業の内容はよく分かりますか	77					
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	85	85.0	81.6	81.7	81.6	
国2	解答時間は十分でしたか(45分)	76.1	72.5	71.6	79.5	69.5	
算1	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	83.4	81.3	85.4	80.6	81.8	72.7
算2	解答時間は十分でしたか(45分)	85.7	83.8	84.9	82.5	81.6	

令和6年度全国学力・学習状況調査 【中学校】質問調査結果から		6年間の比較 ※網掛けは質問項目がなかったもの					
R6 番号	質問事項	R6	R5	R4	R3	R1	H30
		肯定的な回答(%)					
1	朝食を毎日食べていますか	92.8	92.8	94.5	95.2	94.8	94.4
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.2	83.0	83.0	82.4	80.5	78.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.4	92.8	94.3	94.5	93.9	91.4
4	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除きます)	69.3					
5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(1時間未満)	28.7		30.0	20.3		
6	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)(1時間未満)	24.0		29.6			
7	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	65.8		61.9	61.8		
8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	75.1					
9	自分には、よいところがあると思いますか	82.7	80.5	78.1	78.5	74.7	79.9
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.3	90.0	88.2		84.3	85.3
11	将来の夢や目標を持っていますか	66.5	66.3	66.9	66.7	70.0	71.3
12	人が困っているときは、進んで助けていますか	88.8	87.9	88.0	88.7	86.1	
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.6	95.2	96.6	96.3	95.6	95.7
14	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	71.5	69.6	69.8			
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.3	95.3	95.8	96.2	95.3	95.9
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.9	82.4	83.3	81.0	81.6	
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	75.3	78.2	77.5	74.7		
18	友達関係に満足していますか	90.5	89.9				
19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	88.8	87.1				
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか	80.1					
21	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	23.4	27.1	29.2	34.2	29.8	31.0
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	11.9	16.6	18.3	24.0		
23	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く。)(26冊以上)	59.9	65.5	65.4	65.2		
24	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	10.7	11.6	14.3	14.3	17.0	20.2
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	76.8	68.1				
26	放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか(複数選択)						
27	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(ほぼ毎日)	47.1	43.5	34.4	3.9	4.6	
28-(1)	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができますか	84.4					
28-(2)	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができますか	94.6					

令和6年度全国学力・学習状況調査 【中学校】質問調査結果から		6年間の比較 ※網掛けは質問項目がなかったもの					
R6 番号	質問事項	R6	R5	R4	R3	R1	H30
		肯定的な回答(%)					
28-(3)	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができますか	85.7					
28-(4)	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかりますか	89.2					
28-(5)	ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができますか	81.2					
28-(6)	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなりますか	88.7					
28-(7)	ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができますか	88.8					
29	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	59.9	58.1	57.9	59.8	57.5	54.9
30	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.9	81.0	81.5	83.6	78.9	76.8
31	1, 2年生のとき受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	77.4	73.6	71.4	63.7		
32	1, 2年生のとき受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	83.1	78.1	78.4	75.9		
33	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	87.7					
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	80.5	70.7	75.8	74.8		
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりしていますか	80.9					
36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	86.6	90.5				
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	92.7					
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	86.2	77.3	75.9	72.5	65.6	
39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	89.4	83.1	80.7	79.9	76.6	
40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	85.5	78.9	77.8	76.8	72.7	
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.5	88.8	88.7	90.2	80.2	
42	国語の勉強は好きですか	66.4	65.0	62.7	57.9	63.3	
43	国語の勉強は大切だと思いますか	94.4	93.5	93.7	89.9	91.7	
44	国語の授業の内容はよくわかりますか	82.0	79.9	80.2	77.4	78.4	
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.8	90.4	90.3	87.8	89.7	
46	1, 2年生の時に受けた国語の授業で、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解している	79.3					
47	1, 2年生の時に受けた国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている	81.3					
48	1, 2年生の時に受けた国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている	77.7					
49	1, 3年生の時に受けた国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している	83.2					
50	数学の勉強は好きですか	56.7	56.6	57.6	56.9	56.0	52.3
51	数学の勉強は大切だと思いますか	87.9	86.5	87.7	83.9	85.8	85.1
52	数学の授業の内容はよくわかりますか	71.4	71.5	74.5	73.9	71.2	68.6

令和6年度全国学力・学習状況調査 【中学校】質問調査結果から		6年間の比較 ※網掛けは質問項目がなかったもの					
R6 番号	質問事項	R6	R5	R4	R3	R1	H30
		肯定的な回答(%)					
53	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.9	79.2	79.4	76.2	79.3	75.4
54	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	58.1		47.0	49.7		36.5
55	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	79.1		77.7	77.4		71.9
56	数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	47.8					
57	数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	76.3					
58	理科の勉強は好きですか	69.3		70.6			62.1
59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持つたり問題を見だしたりすることがありますか	71.5					
60	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	71.3					
61	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	83.7	80.6				
62	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	86.8	82.9				
63	1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	72.0	67.6				
64	1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	81.2	79.8				
65	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	86.3	84.6				
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	92.6	93.1	75.1	71.4	80.1	
国2	解答時間は十分でしたか(50分)	78.2	78.7	84.2	77.9	90.4	
数1	今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	91.9	93.6	54.0	54.8	60.5	53.5
数2	解答時間は十分でしたか(50分)	73.6	73.6	68.6	81.1	83.6	

1 教科に関する調査

【小学校】

	国語			算数		
	東部	中部	西部	東部	中部	西部
R6	68	68	68	63	63	63
	全国(公立) 67.7			全国(公立) 63.4		
R5	67	68	68	60	62	61
	全国(公立) 67.2			全国(公立) 62.5		
R4	65	62	65	62	61	61
	全国(公立) 65.6			全国(公立) 63.2		
R3	63	66	63	69	70	68
	全国(公立) 64.7			全国(公立) 70.2		
H31	64	64	62	66	67	66
	全国(公立) 63.8			全国(公立) 66.6		

【中学校】

	国語			数学			英語		
	東部	中部	西部	東部	中部	西部	東部	中部	西部
R6	57	55	57	50	49	51			
	全国(公立) 58.1			全国(公立) 52.5					
R5	68	67	70	48	48	51	41	39	43
	全国(公立) 69.8			全国(公立) 51.0			全国(公立) 45.6		
R4	68	66	69	50	50	53			
	全国(公立) 69.0			全国(公立) 51.4					
R3	63	64	63	56	57	57			
	全国(公立) 64.6			全国(公立) 57.2					
H31	72	73	73	58	62	61	52	55	56
	全国(公立) 72.8			全国(公立) 59.8			全国(公立) 56.0		

- ◆小学校の結果について、東部・中部・西部地域ともに、国語、算数とも全国平均と同程度だった。
- ◆小学校の結果における地域間の差は見られなかった。地域間の差については、令和5年度より小さくなっている。
- ◆中学校の結果について、東部・中部・西部地域ともに、国語、数学とも全国平均を下回った。
- ◆中学校の結果における地域間の差は、1～2ポイントとなっており、地域間の差は令和5年度より小さくなっている。

2 質問紙調査

※全国平均との差 ◎ (5ポイントより高い) ○ (1ポイントより高く5ポイント以下) - (同程度)
△ (1ポイントより低く5ポイント以下) ▲ (5ポイントより低い)

【小学校】

質問事項	東部	中部	西部
国語の授業の内容はよく分かりますか	△	-	-
算数の授業の内容はよく分かりますか	△	-	△
自分には、よいところがあると思いますか	△	-	○
将来の夢や目標を持っていますか	-	△	-
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	-	-	-
これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	△	○	▲
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	▲	▲	▲
これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	△	△	△
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	-	-	-
学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていましたか	△	-	-
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	-	-	○

【中学校】

質問事項	東部	中部	西部
国語の授業の内容はよく分かりますか	-	○	△
数学の授業の内容はよく分かりますか	△	▲	△
自分には、よいところがあると思いますか	△	○	△
将来の夢や目標を持っていますか	-	△	○
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	○	○	△
これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	◎	◎	◎
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	▲	△	△
これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	-	○	○
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	○	◎	-
学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていましたか	-	○	-
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	-	○	○